

SNS等を介した青少年の性的搾取に関するアンケート調査 集計結果【全体】

本調査は、「SNS等に起因した青少年の性的搾取への対応」について議論いただいている大阪府青少年健全育成審議会から要請を受けて、大阪府青少年・地域安全室青少年課が教育庁の協力を得て実施したものです。

◆調査対象

府内の小・中・高・支援学校及び市町村教育委員会

◆調査方法

- ・府立学校については、府教育庁を通じ各学校へ依頼
- ・市町村立学校については、府教育庁を通じ各市町村教育委員会へ依頼

◆回答方法

- ・府立学校は各学校からメールで回答
- ・市町村立学校については市町村教委での把握状況又は各学校での把握状況をメール又はFAXで回答

◆実施期間 平成30年8月16日～10月12日

◆回答校 864校(小学校418校、中学校215校、高校(全日)137校、市町村教委17、高校(定時・通信)15校、支援(高等)32校、支援(小中)23校、学校種無回答7校)

【相談の有無】

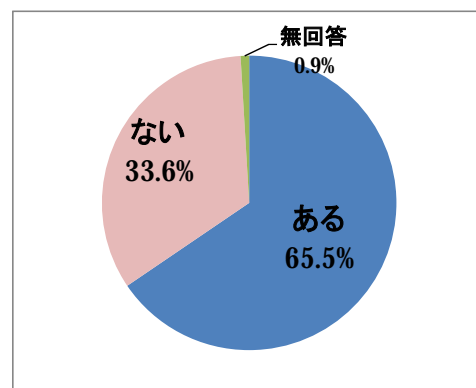
問1

SNS・ネットトラブルに関して児童生徒や保護者等から報告・相談を受けたことがありますか？

ある	566	65.5%
ない	290	33.6%
無回答	8	0.9%
合計(人/%)	864	100%

「ある」学校種別

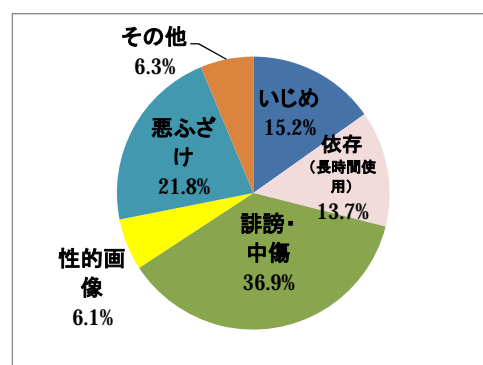
小学校53.3%、**中学校91.6%**、
高校(全日)74.5%、高校(定時・通信)40.0%、
支援(高等)53.1%、支援(小中)13.0%



府内全体で2/3近くの学校・教育機関がSNS・ネットに関するトラブルの報告・相談を受けている。**中学校は9割を超えており、学校現場でSNS・ネットのトラブルへの対応が日常化していることがうかがえる。**

どんな相談が多いですか？(複数回答可)

いじめ	167	15.2%
依存(長時間使用)	151	13.7%
誹謗・中傷の書き込み	405	36.9%
性的画像	67	6.1%
悪ふざけ画像・動画の投稿	240	21.8%
その他	69	6.3%
合計(人/%)	1,099	100%



「**誹謗・中傷の書き込み**」「**悪ふざけ画像・動画の投稿**」が、ほとんどの学校種で多くの割合を占めている。

【自画撮り被害相談の有無】

問2

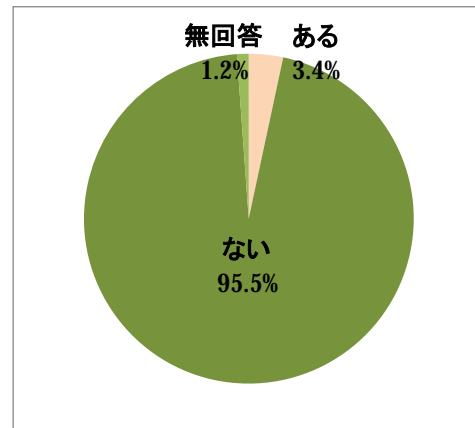
SNS等で知り合った見知らぬ大人から、騙されたり脅されたりして、性的な画像を送るように要求されたという報告・相談を児童生徒や保護者等から受けたことがありますか？

ある	29	3.4%
ない	825	95.5%
無回答	10	1.2%
合計(人／%)	864	100%

「ある」学校種別

小学校0.7%、**中学校7.0%**、
高校(全日)2.9%、高校(定時・通信)6.7%、
支援(高等)6.3%、**支援(小中)8.7%**

全ての学校種で自画撮り被害相談を受けており、**特に中学校の年代での相談が多くなっている。**



【自発的な働きかけ】

問3

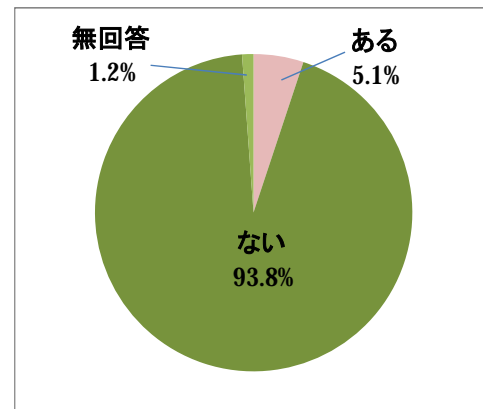
児童・生徒が、自分自身や交際相手との性的な画像や動画を撮影しSNS等へ掲載・投稿したことについて、児童生徒や保護者等から報告・相談を受けたことがありますか？

ある	44	5.1%
ない	810	93.8%
無回答	10	1.2%
合計(人／%)	864	99%

「ある」学校種別

小学校1.4%、**中学校9.3%**、**高校(全日)7.3%**、
高校(定時・通信)0%、**支援(高等)9.4%**、支援(小中)0%

児童・生徒による投稿についての報告・相談は、**中学校・高校の年代で多くなっている。**



- ・アプリで見知らぬ異性と映像電話を行い、自分の裸などを見せた。
- ・男子生徒が数人で遊んでいる中で、ふざけて一人の生徒の下半身の写真を撮り、SNSに投稿した。
- ・好意をもつ同級生から性的な画像を送るように言われて自ら撮影し、送った。
- ・男子生徒が女子生徒に対して自分の下半身動画を送りつけ、相手にもしつこく要求し送らせた。

【意図せず拡散】

問4

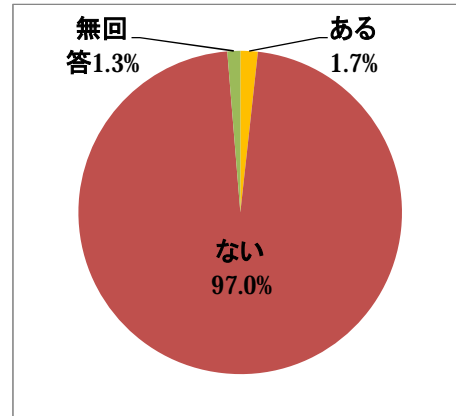
児童・生徒の交際相手との性的な画像や動画が意図せず拡散されて問題となった事例について、児童生徒や保護者等から報告・相談を受けたことがありますか？

ある	15	1.7%
ない	838	97.0%
無回答	11	1.3%
合計(人/%)	864	99%

「ある」の学校種別

小学校0.2%、**中学校3.7%**、高校(全日)1.5%、
高校(定時・通信)0%、支援(高等)0%、**支援(小中)4.3%**

性的な画像・動画の意図せぬ拡散についての報告・相談は件数は少ないが、**中学校の年代で多くなっている。**



・交際している二人のキス写真を友人が撮影し、悪気もなく投稿。削除対応に追われた。

【面識のない大人とのトラブル】

問5

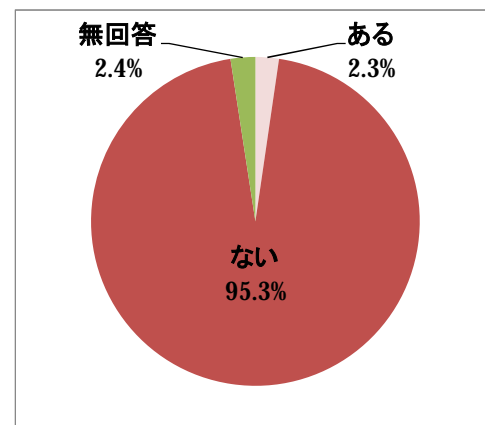
SNS等で知り合った面識のない大人との性的なトラブル(問2の事例を除く)に関する報告・相談を児童生徒や保護者等から受けたことがありますか？

ある	20	2.3%
ない	823	95.3%
無回答	21	2.4%
合計(人/%)	864	100%

「ある」学校種別

小学校0.2%、**中学校5.6%**、高校(全日)2.3%、
高校(定時・通信)0%、支援(高等)0%、支援(小中)0%

面識のない大人との性的なトラブルについての報告・相談は、**中学校の年代で多くなっている。**



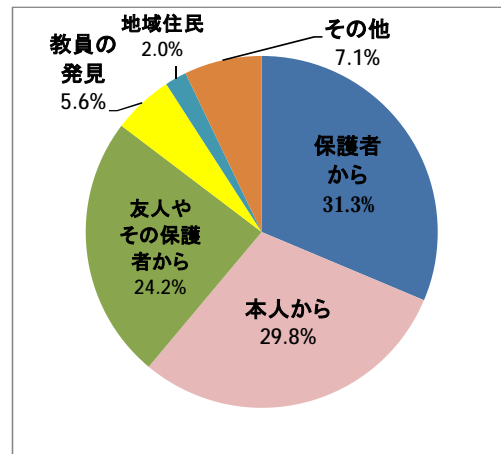
・ネットで知り合った人と実際に会ったところ、カラオケで体を触れられた。

・お金を無理やり送りつけ、それを会って返せと要求してきた。応じないと、自撮り画像を拡散すると脅された。

【把握の経緯】

問6 問2～問5までの事案について、事案を把握した経緯は何ですか？
(複数回答可)

保護者からの相談	79	31.3%
本人からの相談	75	29.8%
被害生徒の友人やその保護者等からの相談	61	24.2%
教員の発見	14	5.6%
地域住民等からの通報	5	2.0%
その他	18	7.1%
合計(人/%)	252	100%

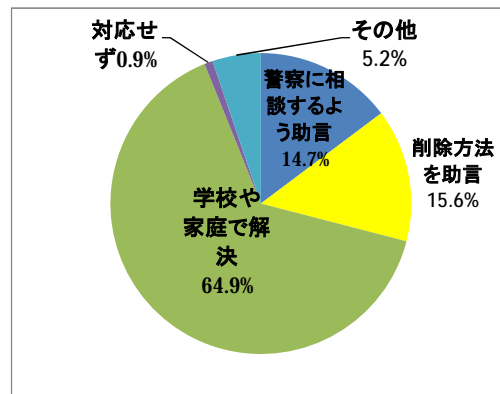


- ・小学校・中学校は、「保護者からの相談」が最多(小学校40.6%・中学校34.5%)
- ・高校(全日)・支援(高等)は、「本人からの相談」が最多(高校(全日)34.1%・支援(高等)71.4%)
- ・高校(定時・通信)は「本人からの相談」と「友人やその保護者から」が25%ずつで最多
- ・支援(小中)については、「教職員の発見」が40%で最多
- ⇒小・中学生の年代は保護者からの相談等の大人によるものが多く、高校の年代では本人からの相談が多い。

【相談後の対応】

問7 以上のような相談・報告を受けて、どのように対応されましたか？

警察に相談するよう助言した	65	14.7%
投稿画像・動画の削除依頼の方法を助言した	63	14.3%
学校や家庭で事実確認し解決した	286	64.9%
特に対応はしなかった	4	0.9%
その他	23	5.2%
合計(人/%)	441	100%

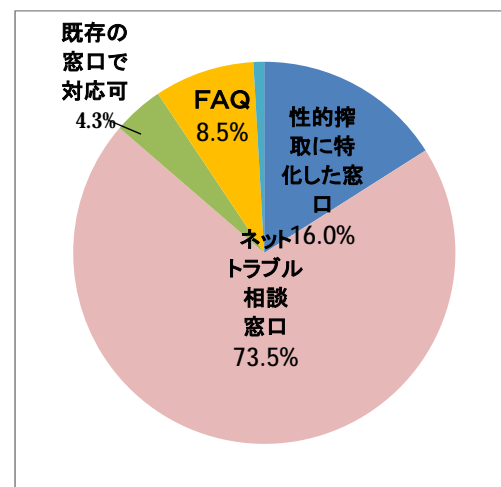


全ての学校種で「学校や家庭で事実確認し解決した」が最も多かった。

【相談窓口の必要性】

問8 SNS等を介した青少年の性的搾取(自撮り被害等)に関して、青少年が相談できる窓口等が必要だと思いますか？

性的搾取被害に特化した相談窓口	104	16.0%
性的搾取に関わらず、青少年のためのネットトラブル相談窓口	457	70.3%
既存の相談窓口(教育相談等)で対応	28	4.3%
トラブル相談への対処マニュアル(FAQ)	55	8.5%
その他	6	0.9%
合計(人/%)	650	100%



ネットに関するトラブルの相談が多く寄せられるため、性的搾取に関わらず青少年のためのネットトラブル相談窓口を望む声が多い。

問9 相談内容の把握方法やその他の意見等

【トラブルの発生状況等について】

- ・低年齢化している(小4など) 放課後家庭等で発生している。
- ・想像以上に低学年のトラブルが多い。

【啓発教育について】

- ・非行防止教室(6年生)がとてもわかりやすくよかった
- ・ネットトラブルが多くなってきているので 幼少期からネットの危険性などを理解させていくような手立てが必要。
- ・予防に関しては、生徒や保護者へ向けた研修や授業の充実が、学校のできる数少ない対策になると思う。効果的な教材や講師を紹介してもらえたり、情報共有できる仕組みが必要。
- ・男子生徒が女子生徒に対し、「胸の写真を送ってほしい」という内容のメッセージを送信していたという話があった。女子生徒自身がこのメッセージに対し、“被害”という意識がないことに驚いた。スマホやSNSが幼いころから身近にある今の中学生と教員の間境界線があることを意識して指導していく必要があると感じた。

【相談窓口の設置】

- ・SNS(ライン等)を活用して相談できる窓口を増やせばよいと思う。
- ・被害実態を早くにつかみ二次被害を防ぐために、身近な大人から離れた相談窓口が必要に感じる。
- ・教員が指導困難な案件を抱えた時に相談できる窓口も設定してほしい。(法的な部分も)

【対応マニュアルについて】

- ・SNS全体の対応マニュアル、相談窓口が必要であると考える。さらに、SNS等の各会社で対応が違っている場合も存在しているので、マニュアルについては、それぞれの会社ごとに一定のものがあれば指導、対応がしやすい。

【保護者・家庭への啓発】

- ・SNS等インターネットの危険性をもっと家庭に啓発してほしい。
- ・学校でも指導していくが、家庭での約束ごとや方針など、家庭での教育が大切、家庭に向けての啓発をおこなうべき。
- ・スマートフォンを購入するのは、保護者である。よってその管理責任については保護者である。ということを知徹底していただきたい。

【行政・警察等への要望】

- ・性的トラブルの相談に携わるNGO(SACHICOなど)との連携を図っていただきたいです。
- ・ネットモラルの指導・啓発だけでは追いつかない。法整備をして厳しく取り締まる等しなければ、安易な加害・被害は増すばかりではないか。
- ・サイバーパトロールを強化する等 被害が少なくなる取組みが必要だと考える。サイバーパトロール強化の周知により加害側も要求しにくくなると考えられる。
- ・SNSに関した被害について警察等関係諸機関で情報を共有すべきであり、子どもから性犯罪を守るという取組みが必要である。
- ・SNSに関するトラブルの新種の事案などの情報を絶えず知りたい。
- ・未然防止という観点から、全校生徒対象、PTA保護者対象にSNSトラブルの現状や、家庭でできるルール設定等に関する講習・研修を、年度内に必ず2度実施するような取り決めがあっても良い。

【事業者への要望】

- ・SNSに関するトラブルに児童が遭わないためのフィルタリング機能を、SNS関連会社が全社的に実施してほしい。
- ・学校でSNS等のトラブルの解決を図るのは、もはや限界がきていると思います。本当に危ないと思うのであれば、スマホ販売者やサービス提供者が自主規制をかけたか、危険性を理解させるための広告うつべきだと思います。